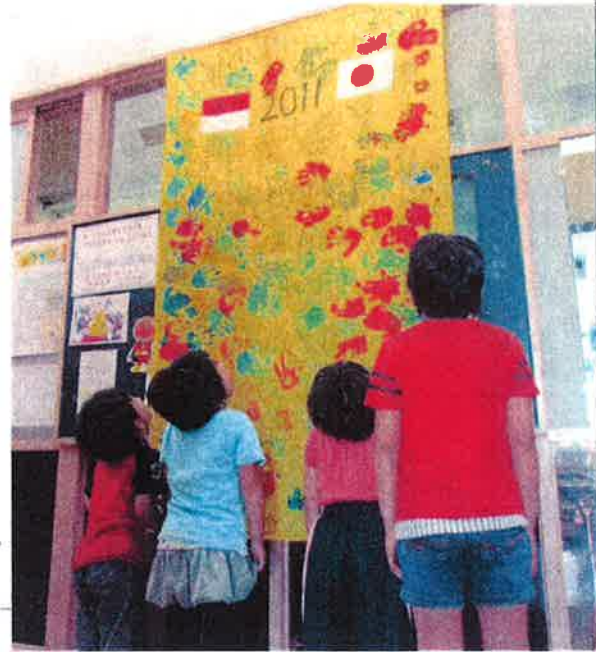


# 清光学園 りよた

第20号  
児童養護施設 清光学園  
園長 高橋 和宏  
岩手県花巻市石鳥谷町  
北寺林十一六八六五  
電話番号  
〇一九八・四五・五一七三  
発行日  
平成二十三年八月十四日



「神様がくれた命は大切に守って下さい。生きていれば必ず幸せな日々がやってきます。今、あなた達が生きている事をしあわせに思っています。必ず幸せなことが、あなた達をむかえる事でしょう。」  
ニスマトラ大地震を経験したインドネシアの方々より応援メッセージをいただきました＝

「多くの人たちに支えられて」

園長 高橋 和宏

年明け早々、学園に数多くの善意が寄せられました。そして、その善意とは高額の現金であり、ランドセルなどの文房具であり、食料品でした。送り主は、言うまでもなくタイガーマスクと名乗る匿名の人でした。  
さらに、送り主はひとりにとどまりませんでした。時にはマネのタイガーマスク、時には五代目伊達直人、あるいは花巻の宮澤賢治等々相次いで善意が届けられました。  
また、中には「園長様、雨にも風にも負けない心もからだも丈夫な人間に育てて下さい」と添え書きを同封した人もいました。  
その度ごとに、子ども達は欣喜雀躍、学園は「タイガーマスクさんありがとう」の大会唱につつまれました。

ところで、子ども達の日常生活、衣食住及び就学に必要な経済的基盤は行政によって支えられ、かつ、保障されていますが、より高度な養護を目指す時に、より手厚い財政的裏付けが求められます。

そんなときの思いがけない善意。学園としては、送り主の思いに応えるためにも、心豊かに急変する社会をたくましく生き抜く人間を育成するために役立てることにしました。  
そして何よりも大切なことは、こうした善意を子ども達にどう受けとめさせるかです。私たちが職員は、子ども達が善意に対して感謝の念を抱く事はもとより、自分たちの日常生活が多くの人たちによって支えられているのだと自覚してくれることを願っています。

奇しくも、それから二ヶ月後、未曾有の震災が三陸を襲い、多くの人命と生活を一瞬にして奪いました。  
そんな折、ヨーロッパから一通のメッセージが届きました。

**"You will never walk alone"**

子ども達は、多くの絆によって生きなければならぬことを自覚したに違いありません。

## 理事長会におかれましては ご挨拶が送らせていただきました

理事長 石森 絢子

理事 高橋 和宏

理事 大富 静信

理事 八重樫 睦

理事 高橋 一栄

理事 高橋 正克

理事 川村 邦子

理事 佐藤 現 (新任)

監事 柳田 善見

監事 高橋 修

任期 平成二十三年六月十九日から

平成二十五年六月十八日まで

## 先輩職員、師匠のようになる！



臨時児童指導員

高橋 佑太

私の一日一日は毎日が勉強です。子どもとの接し方はもちろん、先輩職員、師匠方から学ぶことはたくさんあり、自分のものとして取り入れようと頑張っています。

小規模グループホームでは、一軒家で六人の子どもの生活しているため、一人一人をよく見ることができ、関わりも深く持つ事ができます。新人職員として、このような環境はとても勉強になります。小規模の仕事はもちろん、学園の仕事も早く覚え、職員として認められるよう、これから精一杯頑張っていこうと思います。

## おいしいごはんと共に成長！



臨時保育士

徳山 睦美

清光学園に勤めて五ヶ月が過ぎました。幼児を担当することになり、四月は名前すら呼んでももらえず、私の話も聞かない子ども達も今では「むつませんせい」と呼んでくれたり、話しを聞いてくれたりする事に喜びを感じています。

子ども達が日々成長するうちに、職員のみなさんから多くのことを学び、日々成長できるように、学園のおいしいごはんをいっぱい食べて、元気に頑張りたいと思います。これからもご指導よろしくお願ひします。

## 新任職員紹介

貸借対照表

平成23年 3月31日現在

法人名 社会福祉法人 青松会  
施設名 児童養護施設 清光学園

第5号様式  
(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	24,569,895	21,452,638	3,117,257	流動負債	8,910,615	6,999,272	1,911,343
現金預金	22,321,275	20,859,371	1,461,904	短期運営 資金借入金	6,636,973	4,701,647	1,935,326
現金	47,600	34,854	12,746	預り金	2,273,642	2,297,625	△23,983
普通預金	17,773,675	16,324,517	1,449,158	健康保険	670,999	583,615	87,384
定期預金	4,500,000	4,500,000		厚生年金	1,023,007	899,149	123,858
その他の現金預金				失業保険	110,034	72,863	37,171
有価証券				所得税	268,802	422,723	△153,921
未収金	2,248,620	489,014	1,759,606	町県民税	200,800	226,500	△25,700
貯蔵品				退職共済		92,775	△92,775
立替金				その他預り金			
前払金		104,253	△104,253	前受金			
短期貸付金				仮受金			
仮払金				その他の引当金			
その他の流動資産				その他の流動負債			
固定資産	134,437,176	133,096,324	1,340,852	固定負債	14,692,595	14,805,395	△112,800
基本財産	56,978,020	59,866,269	△2,888,249	設備資金 借入金			
建物	55,978,020	58,866,269	△2,888,249	長期運営 資金借入金			
土地				退職給与引当金	14,692,595	14,805,395	△112,800
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000		その他の引当金			
減価償却累計額 △				負債の部合計	23,603,210	21,804,667	1,798,543
その他の固定資産	77,459,156	73,230,055	4,229,101				
建物	2,191,110	2,287,990	△96,880				
構築物							
機械及び装置							
車両運搬具	1,467,048	1,732,797	△265,749				
器具及び備品	8,489,783	3,785,253	4,704,530				
土地							
建設仮勘定							
その他の有形固定資産	600,000	600,000					
減価償却 累計額 △ 利権							
投資有価証券							
長期貸付金							
公益事業会計 元入金							
収益事業会計 元入金							
措置施設 繰越特定積立預金	50,018,620	50,018,620					
人件費積立預金	13,500,000	13,500,000					
修繕費積立預金	16,518,620	16,518,620					
備品等購入積立預金	20,000,000	20,000,000					
退職給与積立預金							
その他の積立預金							
その他の固定資産	14,692,595	14,805,395	△112,800				
県共済退職預け金	14,692,595	14,805,395	△112,800				
その他の固定資産							
資産の部合計	159,007,071	154,548,962	4,458,109	純資産の部合計	135,403,861	132,744,295	2,659,566
				負債及び純資産 の部合計	159,007,071	154,548,962	4,458,109

平成二十三年三月十一日、午後二時四十六分、三陸沖を震源とするM9.0の巨大地震が発生しました。

当学園でも園舎内はもちろん、屋外においても、今までに経験がないほどの強い揺れを感じ、すぐに園内にいた子ども達の安全確保と屋外への避難を実施すると共に、園内外の被害状況について調査しました。

### 被害の状況

地震後の被害状況調査においては、体育館の窓ガラス破損が一枚、事務室のテレビが落下によりアンテナ部分破損、居室の棚からの物品の落下・散乱、事務室の本棚からの書籍の落下などが見られました。



棚から物が落下した児童居室（上）と破損した体育館ガラス（右）

### 児童の所在確認、安全確保

# 大震災 5ヶ月...

提供については栄養士・調理員の奮闘と日々の創意工夫により臨時メニューが組み込まれ、温かい食事の提供に努めた。幸いにも子ども達も非常時であるということを理解し、おかわりも我慢し、残食も全くなく協力し合う姿勢が見られはじめた。

三月は季節的にもまだまだ朝夕の冷え込みは厳しく雪が園庭を真っ白にする日もあった。停電によりボイラーが使えず、園庭で焚き火を行ったが、その薪を切るなど子ども達は協力的であった。朝は園庭で焚き火を囲んで暖を採り、夜は身を寄せ合い休むことで寒さを凌ぐ生活であった。

### 第三の困難、燃料不足

地震、停電に続き「燃料不足」も子ども達の生活に大きな影響を及ぼす事となった。

三月十三日夜に電気が復旧したことから子ども達の間には安堵感が広がってきた。燃料不足という問題が浮上してきた。



園庭で焚き火をして暖を採りました

ローソクの明かりを囲んでの夕食

地震発生時刻が午後二時四十分であり、下校途中で地震に遭った児童も多かった。

園内にいた児童については一旦園庭に避難したものの、余震が続いたため園舎裏の空き地に避難場所を変更し、まだ帰園してない児童の帰りを待った。

帰園した児童からは「道路を歩いていた時に揺れたので道路に伏せた」など驚いた様子が窺えた。保護者宅に外泊していた児童を除き、当日午後六時には児童全員の安否確認ができた。

大きな揺れに驚きながらも、子ども達はまたその災害の大きさに実感を持ってないような状況であった。

### 停電生活、災害の大きさを実感

子ども達がこの地震の被害の大きさを実感したのはすぐのことであった。地震直後からの停電は三日間続き、更にその後の燃料不足は学園生活にも大きな影響をもたらすこととなった。まずはじめに、発生当日の夕食。刻々と暗くなる中でローソクの明かりを頼りにその日のおやつになるはずであった菓子パンを夕食として食べた。夜は真っ暗な居室で机の下に頭を入れて余震に備えながらの就寝となった。廊下に灯されたランタンの明かりだけが唯一の灯火であった。ガスと水道は問題なく使用できたため食事の

# 東日本 あれから

公用車のガソリン不足による行動の制限やボイラーの燃料である重油の安定供給の目処が立たないことから、ボイラーの運転を控えたため暖房が入らない、入浴ができない等の弊害が生じた。又、ガソリンは職員の私用車にまで影響が出はじめ、勤務調整が不可避となった。

### 多くの方々の支えに感謝

震災発生翌日、花巻市にある鯛焼きの「尾長屋」さんが慰問に訪れ、温かい鯛焼きを振る舞ってくれた。

大変な折にもかかわらず、「こんな時だからこそ」と駆けつけてくれ、昼食として頂くことができた。

他にも白石パン様よりパンやサラダ、砂田屋様より菓子、大興寺様より彼岸団子をいただき、地域の支えの大きさを実感した。



### 未曽有の災害に直面し、改めて日頃の訓練の重要性を再認識することができた。スムーズな避難や自主的な職員の出動をはじめ、児童・職員が一丸となり、協力し合いながら今回の災害を乗り越えることが出来た事は学園の自助の力を

いっそう育んだものと思われる。

# 恒例！ 花火大会開催

当学園の夏の風物詩、「花火大会」が今年も盛大に開催されました。

八月五日、当学園園庭にて多数の地域の方々をお迎えし、夏の思い出のひとつを楽しくむことができました。

ファイヤーへの点火を合図に第一部の開幕。

中高生男子が花火師を務め、連係プレーの元に次々と夜空へ花火を咲かせていきました。

途中、当学園園児と来場下さった皆様との盆踊りを行い、第二部へ。最後の花火はおなじみ「シユルズ」。大迫力の夜空の大輪に会場内は歓声に包まれました。

最後にみんなで手持ち花火を行い、楽しい思い出を作りました。



花火大会の開催にあたりご支援頂いた皆様に心よりお礼申し上げます。

## 夏のレクを存心しました

今年の夏のレクは七グループに分かれてそれぞれ一泊二日の日程で実施し、夏休みを利用して各グループ毎の交流と連帯感を深めることができました。

ここに各グループ様子を紹介します。

### 幼児グループ

幼児五名は秋田県大仙市の田沢湖へ行き遊覧船を楽しんだり、水遊びを行いました。その後、宿泊場所となる水沢温泉へ。温泉では夕食にカレーを作り美味しくいただきました。翌日は盛岡手作り村にて手焼きせんべいにもチャレンジしました。

### 小学生男子低学年グループ

小学生男子三名は花巻市の平塚交流の森にてバーベキューを楽しみ、広域公園で釣りを行いました。宿泊場所である大沢温泉では夜はカレーやサラダを食べました。翌日は松沢スポーツ公園にてゴーカートをしてからガストで食事をしてきました。

### 小学生男子高学年グループ

小学生男子十名は秋田県由利本荘市に海水浴に行きました。天候にも恵まれおもしろい海水浴を楽しむことができました。宿泊場所のファミリールランドではバーベキューを楽しみ、大自然の中、カブトムシを捕まえ

たり、満点の星空を眺めました。

翌日も海水浴場に行き海水浴を楽しみました。

### 小学生女子グループ

小学生女子七名は小岩井農場での散策を楽しみ、その後国見温泉へと向かいました。国見温泉ではみんなで協力してナポリタンを作り、普段とは違う雰囲気での夕食に自然と笑みがこぼれました。翌日は横手を經由しながら横手焼きそばをたべたり、念願の回転寿司を美味しく頂いてきました。

### 中高生男子グループ

中高生男子十名は岩手山登山を計画し、馬返しコースから山頂を目指しました。途中、くじけそうになる者も出てきましたが、励まし合いながら全員で登頂を果たしました。夜は雨にも負けずバーベキューを行い、テントで就寝しました。

### 中高生女子グループ

中高生女子七名は花巻市の松沢スポーツ公園にてバーベキューを行い、大沢温泉に行きました。夕食はみんなで冷やし中華を作りました。存分に温泉に入ることができゆったりとした時間を過ごしました。

### 小規模ホームグループ

小規模は盛岡市の岩山パークランドに行きました。普段遊園地に行く機会がないため、大いに盛り上がり、楽しんできました。その後、食事をして喜盛の湯で温泉に入りました。

平成二十二年十二月二十五日、群馬県中央児童相談所にランドセル十個が届けられました。送り主はタイガーマスクこと「伊達直人」。この件を皮切りに全国で同様の寄付が行われるタイガーマスク現象が起きました。

当施設におきましてもタイガーマスクや伊達直人、宮澤賢治、鉄腕アトムなどを名乗る方々より沢山の温かい支援の手が差し伸べられました。

一月十一日、イトーヨーカドー花巻店の店内投書ボックスに現金十万円が入っており、同店は花巻市役所と相談の上、「当施設の子ども達に」ということで、新入児の入学準備に活用させていただきました。新たに小学校に入学する四名が店舗を訪れ入学式に着る服を合わせてみたり、真新しいランドセルを背負ってみたりと終始笑顔で入学準備を行いました。



イトーヨーカドー、坂本店长様が来園されました。

又、イトーヨーカドー花巻店の計らいで、全国児にもノートや鉛筆などの学用品を寄付していただきました。

## タイガーマスク

### 出現!!

ッセージが添えられていました。この十万円では児童用の自転車を購入させていただき、今まで修理を繰り返しながら使用してきた古い自転車を新しいものと交換することができました。今では子ども達は新しい自転車を大切に使用していただいています。



十八日には宮澤賢治を名乗る方より現金十万円が郵送で届きました。封筒は一関(岩手県一関市)の消印であり、中には「雨ニモマケズ」の詩と共に「強い体を持つ子ども達を育てて下さい」とのメッセージが添えられていました。この十万円では児童用の自転車を購入させていただき、今まで修理を繰り返しながら使用してきた古い自転車を新しいものと交換することができました。今では子ども達は新しい自転車を大切に使用していただいています。



「宮澤賢治」さんより送られた10万円で

購入した自転車

このほかに「花巻の宮澤賢治」を名乗る方より鉛筆や消しゴム、ノートが届けられました。又、「タイガーマスク」より小学生の入学

用品一式四名分が届けられたり、「鉄腕アトム」より鉛筆や切手をいただきました。「イーハトーブの伊達直人」より図書券が届き、「五代目坂本龍馬・東国原秀夫」より文房具類が届けられました。

郵送で送られてきたもの、体育館入り口や園舎裏にそっと置かれていたもの、玄関先で匿名で手渡していったものなど、それぞれの形で善意を届けて下さいました。



園舎裏に届けられた送り物です。出勤した職員が早朝発見しました。

沢山の方々から暖かい心のこもった善意の贈り物を頂いたタイガーマスク現象でしたが、三月十一日の震災以降は震災関連の援助物資であったり、義援金であったりと、多くの方々からご支援を頂いております。

「タイガーマスク現象」により多くのご寄付を頂いたことは勿論ですが、より多くの方々が子ども達の暮らしに関心を持ち、実際に行動に移していただけたことがとてもうれしい事でした。

# まごころ



平成二十二年度に頂きました沢山の

寄付、ご慰問、ご招待を紹介致します。

皆様の温かいご支援に對しまして心よ

り感謝申し上げます。

## ご寄付

板垣弘子様、マルハン北上店様、エル・  
エ・ルイ様、赤沼柳子様、高橋正克様、  
佐伍魚店様、上和町組様、佐々木フクエ  
様、藤根一彦様、大石仁様、照井様（花  
巻市）、那須秀逸様、鎌田眞智子様、菊

池様（花巻市）、小瀬川様（花巻市）、大

冨静信様、藤澤節子様、松尾様（花巻市）、

稲垣耕助様（バンキシヤ）、熊澤清子様、

梅原礼子様、カウブス様（北上市）、白

石パン様、砂田屋様、大興寺様、NTT

ドコモ様、

この他、当学園花火大会など行

事の折等にも関係者、業者の皆様よ

り多大なご支援を頂きました。誠に

ありがとうございます。

## ご招待・ご慰問

焼肉ヤマト様・やまなかや北上店様・

石鳥谷ライオンズクラブ様・イオン盛岡

南ショッピングセンター様・マルハン北

上店様・寿広園様・いわちく様・菅原康  
栄様・東急会様・尾長屋様



ききょう  
Japanese Bellflower  
桔梗

キキョウ科の多年草。夏秋の頃茎の  
先端に青紫色又は白色の花を開く。  
山地。草原に自生し秋の七草の一。  
根は乾かして生薬の桔梗根として  
去痰・鎮咳薬として使用される。

当学園の児童  
居室には草花  
や樹木の名前  
がついてお  
り、実物を子  
ども達が目に  
できる様に  
園舎周辺に植  
えています。  
順次ご紹介し  
ます。

## 編集後記

あの震災から早くも五ヶ月が経ら、学園では  
いつも通りの平穏な日々を送っています。

今まででは考えられなかったような大きな  
揺れ、その後の停電や燃料不足。みんなで身と  
寄せ合い夜を明かし、食事を計画的に分け合っ  
て食べ、園庭で焚き火として暖を採った数日間。  
みんなが一つになって困難を乗り切る事ができ  
たと思います。あのときの気持を忘れず、子  
ども達がこれからの人生を切り開いてくれるこ  
とを願います。